

英語専科通信



気が付けばもう2024年も終盤ですね。先日あるカフェに入ったところ、大きなクリスマスツリーが飾られていました。ツリーを見ると、「ああ、もうそんな時期かぁ」と思います。

★ クリスマスは、英語でChristmasと書かれます。イエス=キリストを表すChristとミサを表すmassが組み合わされた言葉です。キリストの誕生を祝う行事です。今回は、すでにおなじみのイベントであるクリスマスに関する情報をお届けいたします。

クリスマスと聞いて、イメージする色は何色ですか？代表的なものとして、赤・緑・金・白が挙げられます。それぞれには、次のような意味があるそうです。

赤：キリストが流した血やリンゴの実を象徴。

緑：常緑樹から来ており、永遠の命や希望を表します。

金：ベツレヘムの星の輝きや高貴さを象徴。

白：清らかさや純粋さを意味します。

ちなみに、クリスマスツリーのてっぺんに飾られる星は、ベツレヘムの星だそうです。キリストの降誕を知らせた星とされています。

クリスマスにはプレゼントを贈る習慣が結びついていますが、もともとは何だったかご存じですか？

プレゼントを届けるサンタクロースは、聖ニコラウスという司教がモデルになっているという説が有力です。貧しい人に金貨を贈ったエピソードが、現在の「プレゼントを届ける」という行為につながっています。

クリスマスという言葉が入っている歌をいくつ知っていますか？日本では、山下達郎さんの「クリスマス・イブ」がもっとも有名です。今年のクリスマスはぜひ、ジョン・レノンのHappy Xmas(War is over)を聞いてみてください。シンプルな歌詞ですが、力強いメッセージを感じます。

歌の最後には、War is over if you want itという歌詞が登場します。「戦争は終わる あなたが望めば」という意味です。

まだまだ戦争や紛争はいたるところで起こっています。大きなことをするのは難しいです。だから、目の前の人、身近な人を大切にすることから始めてはいかがでしょうか。I wish you a Merry Christmas!



"Christmas is a day of joy and charity."

「クリスマスは喜びと思いやりの日」

この言葉は、アメリカの聖職者フィリップス・ブルックスによって述べられたものです。単なる贈り物を交換する日ではなく、喜びや思いやりを分かち合う日であることを強調しています。クリスマスの精神を表現しています。

